

事故概要と再発防止策

N0.	事故の種類	発生年月日	曜日	時間帯	工種	事故の型	事故の概要	再発防止策
1	労働災害	令和7年4月28日	月	9:40	土木工事	はさまれ・巻き込まれ	ダンプトラックに積み込んだ重機を降ろす作業をしていたところ、荷台が地面に接触した際におりが外れ、ブルーシートにて歩道を保護していた被災者の腕に接触し負傷した。	【人的対策】 操縦者が人払いの声掛けをして目視で安全確認をした後に荷台操作を行う。 【物的対策】 歩道の養生材を重量物である厚コンパネに変更した。 【管理的対策】 あおり止めフックの始業前点検を実施するとともに、作業手順書の見直しも行った。また、緊急安全訓練を実施し、作業員へ周知徹底した。
2	労働災害	令和7年5月1日	木	15:30	建築工事	飛来・落下	枠組足場の組立において、地上から上部作業員へ手渡しで部材を渡したところ、連結のピンが折れて、そのはすみで足場材を滑り落とし、地上の作業員の手の甲に当たって負傷した	【人的対策】 受け渡しをする際に、声がけをする 【物的対策】 材料を使用する前に劣化の確認をする 【管理的対策】 材料を使用する前に劣化の確認をする
3	労働災害	令和7年5月1日	木	14:45	建築工事	切れ・こすれ	被災者は丸鋸を使用してサクシヨンホースの加工作業を開始した。作業姿勢は左手で丸鋸を横向きに持ち、長さ25cm程度のサクシヨンホースを右手で持って縦割りに切断しようとした。3本目の切断に取り掛かった。片側を切断後、対面側を続けて切断しようとした際に、途中まで切断したところで、スイッチを入れたままでサクシヨンホースを持ち方を変えようとした時、キックバックした反動で右手が引っ張られ、右手示指指先が回転刃に接触した。	【人的対策】 省略行動を行わないよう安全教育を行う。 【物的対策】 加工対象部に適した工具を選択する。 【管理的対策】 非対象作業が生じた際は改めてKY活動を行う。
4	労働災害	令和7年5月8日	木	9:20	設備工事	はさまれ・巻き込まれ	敷鉄板を敷いていたところ、敷鉄板に指を挟み負傷した。	【人的対策】 ・敷鉄板設置作業は直接敷鉄板に触れないよう、6人以上で上記治具を持ち作業する。 【物的対策】 ・敷鉄板と単管パイプが可視化できるよう、敷鉄板の横幅より長い単管パイプ（2,000mm）を使用。 ・敷鉄板に直接触らずにところ引きが出来るよう、6箇所に治具を取付け。パイプハンドルにてところ引きをする（治具は設置後取外し） 【管理的対策】 ・作業員に対する新規入場者教育や安全教育において、重量物の搬入に係る吊り作業に加えてステージ設置時の事故リスクや事故事例について周知を徹底し、事故の再発防止を図る。
5	労働災害	令和7年5月15日	木	10:23	下水道工事	はさまれ・巻き込まれ	市道上において新設マンホール設置箇所の埋設管（ガス管）を試験掘作業時、被害者（交通誘導員）は一般車両誘導の際に通行幅確保するために規制帯の中に一時的に入って誘導したときに作業中のバックホウが後進して、右足が履帯に巻き込まれた。	【人的対策】 専属の重機誘導者を配置し、重機運転手と誘導者との間で合図方法の確認する。 職務名入ベストを着用し、各労働者の役割分担を明確化し一人一人の安全に対する意識向上を図る。 重機運転手に対して、誘導員の合図に従うことや、十分な後方確認をさせる。後退、旋回の意味を声やジェスチャーにより誘導員、作業員に伝える 【物的対策】 狭隘な場所の為、出入り時のコーンバーの撤去がやむを得ない場合があるが、その都度、元に戻し指さし呼称で再設置の確認を行う。 コーンバーやA形バリケードで重機走行範囲を明示、立入禁止の表示する。 バックホウ後方に重機接触防止装置を設置し接近を防止する。 【管理的対策】 作業開始前の朝礼・KYミーティングを誘導員含め全作業員で重機接触防止についての教育・指導を行い、作業計画書にて、労働者の配置や、指揮、系統の確認、いつもの慣れによる不安全行動防止を行う。
6	労働災害	令和7年5月19日	月	15:15	土木工事	はさまれ・巻き込まれ	被災者は、サイン看板基礎工事のため小型バックホウにて床掘完了後、基礎碎石を投入しようとした際にアームを伸ばし過ぎ小型バックホウが傾き腹と右わき腹、右わき下をハンドルと照明器に打ちつけて負傷した。	【人的対策】 使用機械の性能等の確認の徹底 【物的対策】 重機等の適切な配置、作業条件に合わせた作業方法、機械の選定（クレーン付きバックホウの使用など）、シートベルトの使用 【管理的対策】 KY活動でその日の作業で予想される危険ポイントを抽出し、対策方法を検討する。事故再発防止対策検討会を開き今回の事故の原因や対策を検討する。今後の工事の進め方についても検討する。
7	労働災害	令和7年6月18日	水	10:00	下水道工事	脱水症状	被災者は休憩のため、冷房の効いた事務所へ戻り椅子に腰かけて休憩していたところ、意識を失い床へ倒れ込んだ。	【人的対策】 朝礼時に体調管理チェックシート及び対面にて作業員の健康状態を確認することに加え、休憩時も体調に問題はないか対面で確認をする。 体調がすぐれないときは作業開始前に必ず報告することを徹底する。 休憩時や体調不良時に使用できる、エアーマット、水枕を常備する。 【管理的対策】 体調管理チェックシートを改良し、当日の作業内容や着衣の状況によるWBGT基準値を作業員ごとに設定し、休憩時間の管理等を行う。
8	労働災害	令和7年6月17日	火	15:00	土木工事	熱中症	市道においてガス供給管引き込み工事後の舗装本復旧工事をしていたところ、被災者が「手足のしびれ」及び「筋肉がつる」という熱中症の初期症状を自覚し、3tダンプ内で休憩し、落ち着いたと自己判断のもと、自らの運転で次の現場へ移動するも症状が再発した為、救急搬送した。	（調査中）

【参考】物損公衆災害の概要

NO.	発生年月日	曜日	時間帯	工種	事故の型	事故の概要
1	令和7年4月4日	金	10:20	ガス工事	埋設物等の損傷	市道において、ガス供給管（PE30）敷設のためバックホウにて掘削をしていたところ、付近に埋設されていた水道配水管（VPφ30）にバケットを接触させて破損させた。
2	令和7年4月7日	月	11:45	ガス工事	埋設物等の損傷	市道において廃止ガス管を撤去するため、0.1m ³ 級のバックホウにて掘削をしていたところ、付近に埋設されていた水道管（VPφ50mm）にバケットを接触させて破損させた。
3	令和7年4月5日	土	0:50	設備工事	その他物損	現場調査を行うため特殊車（自走式モーターカーに高所作業台車を連結）を使用し現場へ向かっていたところ、分岐器にて特殊車等指揮者と確認補佐者が開通方向を見誤り高所作業台車が脱輪。それに伴い高所作業台車の車輪、転てつ器及び線路を損傷させた。
4	令和7年4月21日	月	15:45	土木工事	埋設物等の損傷	全面通行止めを伴う市道拡幅工事において、マンション敷地内から隣接する（市）仙台村田線への仮設道路を施工するため、バックホウにて民地内を掘削していたところ埋設されていた水道配水管（VPφ40mm）を破損させた。
5	令和7年4月24日	木	14:00	その他	草刈り・伐採等	草刈り中の飛び石により車両のリアガラス破損
6	令和7年4月25日	金	14:00	下水道工事	その他物損	本管更生において、土砂詰まり等の理由により使用されていないと判断し、開口していなかった取付管上流部の公共樹から汚水が民地へ溢水した。
7	令和7年4月21日	月	23:00	ガス工事	埋設物等の損傷	歩道内において、夜間に試験掘り箇所の舗装版切断工を実施。後日、当該箇所を試験掘りしていたところ、深さ7cmに埋設されていた街路灯用と思われる電気配線が切断され、隣接する街路灯が消えていることを確認した。
8	令和7年5月8日	木	8:30	土木工事	埋設物等の損傷	補強土壁工の施工において、現場内の埋設管（残置管）が支障となるため管の撤去作業を実施していた。残置管撤去のため掘削をしていた際、バケットが残置管の先にあった供用中のガス管の付属品（リペアサドル）と接触して損傷し損傷箇所からガス漏れが起きた。
9	令和7年5月15日	木	10:40	水道工事	埋設物等の損傷	市道において新設管を布設するため0.13m ³ 級のバックホウにて掘削していたところ、埋設されていた給水管（PPφ20mm）にバケットを接触させて破損させた
10	令和7年5月23日	金	9:30	設備工事	埋設物等の損傷	床シンダーコンクリートを電動ピックで斫りをしていた際、埋設電線管に気づかず電線管を破損、内部動力配線に傷をつけたため漏電
11	令和7年5月27日	火	10:35	ガス工事	埋設物等の損傷	仙台市道において既設ガス管の撤去をするため、0.15m ³ 級のバックホウにて掘削をしていたところ、付近に埋設されていた下水道取付管（VUφ150mm）にバケットを接触させて破損させた。
12	令和7年5月23日	金	8:30	建築工事	埋設物等の損傷	地盤改良のため、0.8m ³ 級のバックホウにて掘削をしていたところ、埋設されていたガス管（PEφ150mm）にバケットが接触し破損させたもの。
13	令和7年4月16日	水	23:00	ガス工事	その他物損	植樹帯内で試験掘りを実施した際、ケヤキの太根（直径約10cm）及び細い根を切断した。
14	令和7年5月29日	木	13:30	ガス工事	埋設物等の損傷	仙台市道（歩道）において新設ガス管（PE75）を敷設するため、0.1m ³ 級のバックホウにて掘削をしていたところ、付近に埋設されていた下水道取付管（陶管φ150mm）にバケットを接触させて破損させた。 ※取付管が図面に表記なし及び宅内樹AP建物内にあり事前に位置確認できず。
15	令和7年6月2日	月	9:00	水道工事	埋設物等の損傷	市道において新設管を布設するため給水管、下水管を手掘りにて確認していたが、近くに埋設されていた別の給水管（PPφ20mm）にバケットを接触させて破損させた。
16	令和7年6月4日	水	9:10	水道工事	埋設物等の損傷	市道において新設管を布設するため掘削していたところ、近くに埋設されていた配水支管（VPφ50mm）にバケットを接触させて破損させた。
17	令和7年6月3日	火	10:30	水道工事	埋設物等の損傷	市道において新設管を布設するため0.1m ³ 級のバックホウにて掘削していたところ、埋設されていた雨水の取付管（陶管φ200mm）にバケットを接触させて破損させた。
18	令和7年6月4日	水	11:40	水道工事	埋設物等の損傷	市道において新設管を布設するため0.1m ³ 級のバックホウにて掘削していたところ、埋設されていたガス本管（PEφ75mm）にバケットを接触させて破損させた。
19	令和7年6月5日	木	10:56	建築工事	埋設物等の損傷	壁の補強コンクリート打設のため、壁面に打ち込んだ型枠のセパレーターアンカーが壁内に埋設された既設電線管を損傷させ、室内照明2基が点灯しなくなったもの
20	令和7年6月6日	金	11:30	土木工事	架空線等との損傷	1棟東側重力式擁壁掘削の一連の作業中において、ダンプトラックに土砂積込みの作業中にブームを下げなければならない場面でもブームを上げたまま旋回してしまい、道路横断方向のNTT引込架空線に接触し切断した。
21	令和7年6月9日	月	15:40	その他	草刈り・伐採等	除草作業中、富谷方面から走行してきて被害車両のフロントガラスに飛石が当たり、これを破損させたもの。